

事業所名

児童発達支援事業所 Rainbow Rose 藤井寺野中

## 支援プログラム (児童発達支援)

作成日

2026 年

2 月

20 日

法人 (事業所) 理念		「Crowning Care For The Fun Life」 誰でも誰かにとってかけがえのない大切な存在であることへの共感を最高のケアで実現していきます。					
支援方針		子ども一人ひとりが本来持っている強みや可能性を尊重し、環境や手順の工夫によって支えながら安心して過ごせる環境を整えます。構造化された方法で関わりを工夫し、子どもが自分のペースで生活できるよう見通しを持たせます。自分を肯定できる経験を重ね、特性を理解しながら必要な支えを受けて生活する力を育みます。家庭や関係機関との連携を大切にし、一貫した支援を提供することで、子どもが自分らしく歩んでいける未来を支える環境づくりを目指します。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活リズムや個々の行動パターンを尊重し、安心して過ごせる環境を整えます。身辺自立については、現在の「できていること」を土台に成功体験を積み重ね、自信につなげます。また、苦手さがある部分については環境調整や手順の視覚化などの工夫を取り入れ、無理なく生活スキルを育みます。さらに、AIセラピストco-miiの特性を活かした個別支援プログラムにより、一人ひとりに合わせた最適なサポートを行い、子どもたちが自己理解を深めながら自分らしく成長できるよう支援します。AIセラピストco-miiの多彩な教材やツールを用いて、楽しみながら生活スキルやコミュニケーション能力を自然に身につけられる環境を提供します。					
	運動・感覚	身体の使い方や感覚の特性を理解し、安心して楽しく身体を動かせる環境を整えます。安田式体育遊びの考え方を取り入れ、できる・できないで評価するのではなく、「やってみたい」「楽しい」という感情を最優先します。私たちは、「熱中すれば自ら育つ」という視点を大切に、子どもが夢中になって遊ぶ中で力を伸ばしていけるよう支援します。遊びを通して成功体験を積み重ねることで、自信や意欲を育てます。苦手な動きや感覚については無理に克服を目指すのではなく、その子に合った方法や環境調整を行いながら、自分の身体と上手に付き合っていく力を育みます。					
	認知・行動	興味や得意なことを大切にしながら、考える力や理解する力を育てます。主に発達に特性のある子どもたちに向け、楽しく遊びながら理数・工学的な知識を深め、認知機能や問題解決能力の向上を目指します。活動の中では、組み立て遊びや構成遊びを取り入れたプログラミングSTEM教育特化型療育教材「すてむほくす」を活用し、自ら試し、考え、工夫する経験を重ねます。正解を求めるのではなく、「どうしたらできるかな」と考える過程そのものを大切にします。また、活動を通して困りごとに直面しても、自分で見通しを立てて行動できる力を育て、その子に合ったやり方を見つけられるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	言葉で伝わる喜びを大切に、やり取り遊びや絵本の読み聞かせ、声に出して読む経験を通して、語彙の拡大や文章理解を促します。また、就学を見据え、ひらがなやカタカナなどの文字に親しむ機会を取り入れます。遊びや日常の中で自然に触れながら、「読めた」「わかった」という成功体験を積み重ね、自信と学びに向かう姿勢を育てます。発語に限らず、その子に合った表現方法を尊重し、安心して思いを伝えられる環境を整えます。					
	人間関係 社会性	小集団活動を通して、順番を待ったり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりといった経験を重ねながら、少しずつ関わりを幅を広げていきます。インターナショナル保育園の多様な文化や言語がある環境の中で、インクルーシブ教育の考え方を取り入れ、子ども一人ひとりの特性やペースに合わせたサポートを行います。遊びやプログラムの中で、困ったことやトラブルがあっても、失敗ではなく「次はどうするか」と考える機会として捉えられるよう支援し、安心して挑戦できる経験を積み重ねます。こうした関わりを通して、子どもたちは自分の思いを伝える力や相手の気持ちに気づく力、協力する力を少しずつ身につけ、社会の中で自分らしく過ごす力の基礎を育みます。					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭でも取り入れやすい構造化の工夫の提案</li> <li>様子を具体的に伝え、支援方法の共有を行う</li> <li>年2回の個別面談の実施</li> <li>子どもの特性理解を深めるための情報提供</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて関係機関との連携会議を実施</li> <li>就学先へ、視覚支援や環境調整方法の情報提供</li> <li>子どもが見通しを持てるよう事前準備支援を行う</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業所との連携</li> <li>Colorful Café (スタッフと保護者が気軽に話せるカフェの開設)</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>構造化支援に関する内部研修の実施</li> <li>支援記録をもとに振り返りを行い、支援の一貫性を保つ</li> <li>外部研修への参加</li> </ul>
主な行事等		当事業所では、子どもが安心して参加できるよう事前に視覚的な予告や活動の流れを提示し、見通しを持てる形で行事や活動を実施します。季節や子どもの興味・関心に応じた活動を取り入れ、無理のない参加と安心して取り組める内容を計画します。行事は楽しさを大切にしつつも、役割や手順を明確にし、主体的に参加できる機会となるよう支援します。					